

埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

祝！ 厚生労働大臣表彰受賞

平成29年6月23日(金)(日臨技定時総会の前日)に千代田区霞が関の霞山会館にて、日臨技の創立65周年、法人化55周年の記念式典が執り行われました。

式典では古川俊治参議院議員(埼玉県選出)を初めとする国会議員、横倉義武日本医師会会長が来賓として祝辞を述べられました。

式典の中で臨床衛生検査業務功労者 厚生労働大臣表彰の表彰式が行われ、全国の技師会から推薦された93名が受賞されました。

埼玉県からは埼臨技からの推薦で神山清志副会長、矢作強志事務局長、小山博史事務局次長の3名、日臨技からの推薦で現在日臨技役員を務めている岡田茂治副会長が受賞し、合せて4名が受賞するという誠に目出たい表彰式でした。

なお、現在会長の私・津田は前回(60周年)式典で、また島村副会長は一昨年に当会初の埼玉県による直接推薦にて既に受賞しています。

式典に続き、三井記念病院高本眞市院長先生の記念講演会「患者とともに生きる」、記念祝賀会と続き、盛大に執り行われました。(文責：津田聡一郎)



受賞者喜びの一言

公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 副会長
神山 清志 (浦和医師会メディカルセンター)

日臨技創立65周年・法人化55周年記念式典の席上で厚生労働大臣表彰を受賞いたしましたことは、身に余る光栄であり、会員・賛助会員の皆様、推薦書類の作成に際しご尽力いただきました埼臨技役員、事務職員の皆様に厚くお礼申し上げます。また、小崎繁昭名誉会員、津田聡一郎会長におかれましては、お忙しい中、式にご列席賜りありがとうございます。

今回の受賞は、医師会勤務の臨床検査技師として地域医療の向上に努め、埼臨技役員として技師

の技術向上、県民に対する衛生思想の普及・啓発活動に微力ながら貢献できたことが評価されたことと思います。

また、今回は、埼臨技推薦で3名、日臨技推薦で1名の4名もが受賞できました。これは諸先輩方が築き上げた「埼臨技」が歴史と伝統を守りながら健全な法人として成長している証であると考えます。

この受賞を励みとして、今後も会の発展、技師の地位向上をめざし精進したいと思います。このたびは誠にありがとうございました。

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 理事

公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 副会長

岡田 茂治 (埼玉県立がんセンター)

日臨技創立65周年・法人化55周年記念式典におきまして、厚生労働大臣表彰を受賞させていただきました。日臨技推薦としてたいへん名誉ある表彰を受け、身に余る光栄です。会員・賛助会員、そして職場の皆様がこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

今回の受賞は本人のみならず親族もたいへん喜んでおり、改めて受賞の喜びをかみしめています。今後もこの受賞を励みとして、日臨技、埼臨技の発展と臨床検査技師の地位向上、学術向上をめざし精進したいと思います。また高齢者の増加にともなう福祉費の増大、総人口の減少に合わせた病床数の削減と保健医療費の削減など臨床検査技師を取り巻く医療環境や厚生労働省の基本方針が大きく変化していくことが予想されます。微力ながら会員・賛助会員のお役にたてるよう、これからも活動していきたいと思ひます。ありがとうございました。

公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 事務局長

矢作 強志 (川口市立医療センター)

この度、厚生労働大臣表彰という名誉ある賞を受賞させていただきました。まずは推薦をいただきました津田聡一郎会長をはじめとする埼臨技理事各位に、この場をお借りし御礼を申し上げます。またご多忙にもかかわらず表彰式にご列席いただきました小崎繁昭名誉会員、津田会長。ありがとうございました。

今回、10年以上にわたる埼臨技理事としての公衆衛生事業活動が功績として評価されたものですが、私が理事就任時会長でありました五内川里子名誉会員をはじめとする歴代の執行部及び事務員の皆様、研究班やHP委員会等、関わりのあった多くの皆様との賜物と思ひます。そして何よりも職場の皆様のご協力無くして技師会活動は在り得ず厚く深謝いたします。

今後はこの賞に恥じぬよう、埼臨技のより活発な活動と共に職場内での臨床検査技師の立場を鑑み、日々邁進していきたいと思ひます。

今後も宜しくお願ひいたします。

公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 事務局次長

小山 博史 (JCHO埼玉メディカルセンター)

去る平成29年6月23日、日臨技創立65周年・法人化55周年記念式典の席上、厚生労働大臣表彰式が挙行され、厚生労働大臣表彰を受賞させていただきました。ご推薦いただきました津田聡一郎会長、並びに埼玉県臨床検査技師会理事の皆様がこの場をお借りして感謝申し上げます。また、お忙しい中、小崎繁昭名誉会員、津田会長には表彰式にもご列席いただき、感謝申し上げます。

この度の受賞は、微力ながら臨床検査技師として技師会活動を通じ、公衆衛生事業にお役に立たたことを評価していただけたものと考えております。私の今日があるのもご指導いただきました埼臨技の諸先輩方のお陰であり、大変感謝しております。また、職場の先輩、同僚の皆様にもご指導

ご協力いただき、感謝しております。今後、更に埼臨技の発展に寄与できますよう、努力してまいります。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。



◀写真左より小山氏 津田会長 神山氏
小崎繁昭名誉会員 (元日臨技会長)
岡田氏 矢作氏

平成29年度日臨技定時総会 開催される

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会の平成29年度定時総会が、平成29年6月24日(土)午前10時より、東京・大森東急REIホテル 5階「フォレストルーム」にて開催され、埼臨技から津田聡一郎会長、神山清志副会長、岡田茂治副会長、小山事務局次長、山口学術部長が出席した。

定刻通りに、丸田秀夫常務理事の司会で開会され、宮島喜文会長の挨拶があった。そのお話の中でニュースキャスターを務めていた小林麻央さんが亡くなられた件に触れ、(一般論として)この検査で良かったのか、この時期で良かったのか、検査技師がチーム医療を唱えていくとすれば、そこまでの責任も有るのではないか、という問い掛けが印象的であった。

名誉会員の佐藤乙一氏、下杉彰男氏、小崎繁昭氏の紹介が行われ、引き続き日臨技による永年職務精励者表彰、日臨技有功賞の各賞の表彰式が執り行われた。

今回の定時総会議案は3つで、①平成28年度の事業報告、決算報告。②役員報酬の規程の改定。③会員に入会する際の規程の改定だった。

最初の事業・決算の報告への質疑・意見は特に無く、賛成多数で可決し、認められた。

役員報酬については、従来の規程には基本骨格に当たる根本的な拠り所が無かったため、国家公務員の給与の規程に準拠させる、という一文を加える改定。また、入会については、従来の規程の中に「入会資格」について書かれていなかったため、「臨床検査技師または衛生検査技師の免許を有するもの」という条件付けをした、というもので、どちらも賛成多数で可決し、成立した。

総会が無事に終了した後、前の週に開催された千葉県幕張での日臨技学会の中山茂学会長から御礼、来年度の静岡県浜松での山口浩司学会長、来年度開催県・山口県の渋田秀美会長から挨拶があった。

(文責：津田聡一郎)

埼臨技 新入会員向け研修会開催される

去る7月7日(金)大宮ソニック601号室にて「埼臨技 新入会員向け研修会」が開催されました。これは日臨技の入会促進対策の一環として各都道府県技師会に委託された事業であり、今回で3回目となります。当日は大盛況で96名(会員・非会員・学生)の方々にご参加いただきました。

研修会は2部構成になっており、前半部分は津田埼臨技会長に日臨技と埼臨技の違いと特色について、岡田日臨技理事には日臨技製作のDVD上映を交えて講演いただきました。後半部分は新人さん技師必見!「日当直検査で知っておくべきポイント教えます」～血液検査データの見方・考え方を中心に～と題して埼臨技学術部の鳥山理事に実際の事例と検査データを示しながら解り易く講演していただきました。参加者からは「日当直業務を行うにあたって非常に参考になった」、「日臨技・埼臨技の組織について理解できた」、「前半部分の資料もほしかった」など数々の意見をいただきました。

当日は椅子や資料が不足してしまい、一部の参加者にご迷惑をおかけしたことを、この場を借りてお詫び申し上げるとともに、次年度の研修会では今回の経験を生かしてより良い新入会員向け研修会を企画していきたいと思っております。

(文責：事業部 神嶋敏子)





平成29年度 第1回 検査室運営研修会のお知らせ

認知症について、理解を深めよう!!【第2弾!!】

「認知症サポーター養成講座」

～ 認知症サポーターになって、オレンジリングをGETしよう!! ～

検査室管理運営委員会では管理職のみならず、新人から各々の責任者まで検査室を運営する皆様を対象に研修会を企画しております。

平成29年度 第1回 検査室運営研修会は、平成28年度研修会で大好評だった“認知症について理解を深めよう!!”のアンケート調査でも、認知症について継続した研修会を望む…という要望が多くあったことや、日臨技主催で開催される“臨床検査技師のための認知症対応力向上講習会事業”を見据えて、下記のとおり「認知症サポーター養成講座」の開催を企画しました。

「認知症サポーター」は、厚生労働省が「認知症を知り地域をつくるキャンペーン」の一環として、認知症になっても安心して暮らせる町をつくることを目指して、埼玉県では平成18年度から養成されています。認知症サポーターには、認知症の人とその御家族を支援する「目印」となるブレスレット（オレンジリング）が配付されます。（埼玉県HP）

認知症サポーターになったからといって、特別に何かをやらしてもらうものではありません。認知症を正しく理解し、認知症の人とそこそご家族の応援者として、私たちに出来るところから始めていきましょう!!

開催日時：平成29年9月26日(火) 19:00～20:30

開催場所：さいたま赤十字病院 2階 多目的ホール

講師：社会福祉法人シナプス さいたま市中央区北部圏域地域包括センター
ナーシングヴィラ与野「認知症サポーター養成講座」キャラバン・メイト

司会：吉岡 直子（川越リハビリテーション病院 臨床検査室）

参加費：無料

※日臨技生涯教育研修制度の点数付与はありません

※養成講座を受講された方にのみ、オレンジリングが配付されます。そのため、遅刻等はオレンジリングが配付されないの、ご注意ください。

イベントスタッフ募集します。

埼臨技事業部では、毎年10月・11月にかけて、日臨技主催の全国「検査と健康展」をはじめ、自治体が主催するわらび健康まつり、深谷市福祉健康まつりへの参加や埼玉県糖尿病協会が実施する糖尿病無料相談会へ技師を派遣しています。

多くの一般市民の方とふれあえ、また他施設の技師さんとも意見交換することができ、非常に有意義な一日となること間違いなしです！今年開催のイベント日程は以下のとおりです。初心者、未経験者でも大歓迎です。ぜひともご参加ください。

【イベント日程】

平成29年度 日臨技 全国「検査と健康展」（埼玉県会場）

平成29年11月11日（土曜日） 浦和コルソ

実施予定内容：血管年齢・骨密度測定・検査相談、他

第17回 わらび健康まつり

平成29年10月22日（日曜日） 蕨市民体育館

実施予定内容：骨密度測定、他

第12回 深谷市福祉健康まつり

平成29年10月28日（土曜日） 深谷ビクタートル

実施予定内容：血管年齢、他

平成29年度 糖尿病無料相談会

実施予定内容：血糖測定、他

※複数の日程・会場で実施予定です。決定次第、埼臨技HPにて案内します。

出席した研究班班員：庄司和春 大島まり子 鈴木淳子 鯨井智子 中別府奈穂子 岩崎篤史
多川裕介

研修内容・感想など

今回は土田氏に婦人科癌を中心とした腫瘍マーカーについて講演していただいた。最初に腫瘍マーカーの罹患数・死亡数のデータから婦人科の腫瘍マーカーについて説明していただいた。2012年の罹患数が多い部位のデータにおいて女性の1位が乳房、5位が子宮となっている。また、2014年の死亡数のデータにおいて女性の5位に乳がんがある。年齢部位別の罹患率・死亡数割合では、女性は40代で乳がん、子宮がん、卵巣がんが多くを占めるが、高齢になるにつれ減少傾向であった。

次に各婦人科の腫瘍マーカーについて説明していただいた。SCCは子宮頸がんでは50～70%の陽性率だが、肺癌、食道癌などの扁平上皮癌、皮膚疾患や肺炎等の陽性疾患でも陽性を示す。CA15-3は乳がんで高頻度で上昇し、治療効果の判定にも有用であるが、肺・膵・胃・腎などの進行性癌でも10～40%の陽性率を示すがそれらの癌での有用性は低く、肝硬変、肝炎、自己免疫性疾患、卵巣の陽性腫瘍でも上昇する。CA125は卵巣癌で高い比率で発現し、早期癌における発現率は50～60%である。性周期の影響があり、閉経後は安定であるが、子宮内膜症、妊娠、出血性嚢胞などでも上昇することがある。

最後に腫瘍マーカーのHE4について説明していただいた。HE4は卵巣悪性腫瘍の補助診断に用いられる腫瘍マーカーであり、CA125と異なり性周期の影響が少なく、子宮内膜症などの婦人科良性疾患で上昇することも少ないといった特徴がある。HE4は卵巣悪性腫瘍において、特異度一定の場合にCA125と同等の感度を示すため、CA125と組み合わせることにより、感度および特異度が高まる。また、CA125とHE4の測定値を計算式に当てはめ算出される卵巣悪性腫瘍推定値（ROMA）を使用することで上皮性卵巣腫瘍が良性か悪性かの鑑別に用いることができ、HE4とCA125の間には相関性がなく両者を組み合わせることにより上皮性卵巣腫瘍の診断において単独のマーカーよりも正確に臨床側に報告できる可能性がある。

各婦人科腫瘍マーカーは他の部位の腫瘍や婦人科良性腫瘍でも上昇する可能性があり、それぞれの特徴を理解し、単独の腫瘍マーカーのみの測定だけではなく複数の腫瘍マーカーを同時に測定するコンビネーションアッセイを用いることも重要である。

(文責：多川裕介)

テーマ 生理機能検査の基本 その2

主催 生理検査研究班

実施日時：平成29年 5月20日 14時30分～17時40分

会場：自治医科大学附属さいたま医療センター 南館 2階講堂

点数：専門教科ー20点

講演 1：心電計、脳波計日常点検、メンテナンス方法

講師：亀井 繁美（日本光電工業株式会社長岡サービスセンター）

講演 2：脳波記録と判読のポイント

講師：仲野 浩（埼玉医科大学病院）

参加人数：会員30名

出席した研究班班員：早川勇樹 野本隆之 仲野浩 瀧沢義教 家城正和 田名見里恵
櫻井友加里 横尾愛

研修内容・感想など

講演 1 は、日常点検の再確認、病院機能評価やISO取得を目指す病院の方々に少しでも役立てればと思い、心電計と脳波計の日常点検およびメンテナンス方法について、亀井氏に講演をお願いした。始業・終業点検の話から始まり、点検用チェックリストをスクリーンに写し、しっかりチェックして欲しい点についての話があった。心電計でしっかりチェックして欲しい点としては、①新旧、異種の電極を混用していないか？②サーマルヘッドは汚れていないか？③アンプの感度は正常か？波形にノイズは混入していないか？などがあり、実際の心電計チェック手順をスライドに示し、詳しく解説していただいた。

メーカーへの問い合わせとして脳波計では、ペンに関することが多く、心電計では①「ノイズがすごい」、②「波形がフラット」とのトラブル対処方法が多いようである。今回の講演では、その対処方法を聴けて勉強になった。また講演後には、脳波計ペンの交換を実機で体験する時間を設けた。受講者からは、「実際に脳波計ペン交換などの体験でき良かった。」との感想

が寄せられた。最後に「日常点検をしっかりと行うことで、異常の早期発見や突然のトラブルを防ぐことができる。取扱説明書にも記載があるので参考にして実施をお願いします。」と、まとめられていた。

講演2では、脳波判読のポイントを解説する前に、画像(CT・MRI)と脳波の比較、電極の装着のポイント、脳波検査の進め方、導出法などについての話があり、①脳波15分の記録で突発性異常の約85%が拾えた。②睡眠・覚醒の両方が記録できた方で、入眠で異常波が出現または増加したものが85%、覚醒時にだけ出現したものは12%であった。③脳波記録は「覚醒・睡眠の両方を記録する様に努力する。」④賦活の目的は、異常波の誘発と反応の異常を確認することであり、既知のモヤモヤ病の過呼吸(HV)は禁忌である。など、検討のデータなどを示して解説された。また、脳波の記録の注意点として、アーチファクトの混入が問題となるが、アーチファクトは除去するのが基本であり、その対策手段の話があった。

脳波を判読するに当たっては、これだけは覚えていただきたい脳波用語、異常脳波出現の年齢、背景脳波の変動や年齢別の正常睡眠脳波所見などを説明していただき、講演の後半では、てんかんなどの異常脳波をスクリーンに写し、その脳波所見・特徴、好発年齢、分類および症状などの解説があり勉強になった。(文責：瀧沢義教)

テーマ 生理検査研究班CD-ROMサーベイ2016報告会

主催 生理検査研究班

実施日時：平成29年 6月10日 14時00分～17時00分

会 場：戸田市立福祉保健センター 2階講義室1, 2

点数：専門教科－20点

講 師：生理検査研究班 班員

参加人数：会員31名

出席した研究班班員：早川勇樹 仲野浩 瀧沢義教 家城正和 関口知詠子 田名見里恵
櫻井友加里 丸山陽介

研修内容・感想など

2016年度も例年通り、生理検査CD-ROM画像サーベイを行い、報告会を行った。今回の設問は調査目的のアンケートも織り交ぜて、施設ごとにどのような方法で検査を行っているのか現状把握をすることができた。また、基礎問題と教育問題の両方をバランスよく出題できたため、新人職員の研修目的や検査室内でのディスカッションに役立ったのではないと思う。

報告会では研究班員が各設問の回答と解説をするが、解説の中で症例に対する評価方法のポイントや、ガイドラインもの確認もすることができ、再確認の意味でも有意義であったと思う。検査件数的に少ない施設では、日常ではあまり遭遇しない内臓逆位や人工弁の超音波の症例問題もあったが、知識として備えておいた方が良いと思われるので、後日配布される解説版CD-ROMでもぜひもう一度ご確認いただきたい。

参加していただいた施設は、2015年度は97施設であったが、2016年度は81施設と減少してしまった。また、アンケートでは設問に対する貴重なご意見や、サーベイ自体に対する改善要望をいただいたので、これらの問題点を踏まえて、2017年度もCD-ROM画像サーベイを継続していきたいと思う。(文責：丸山陽介)

テーマ 救命診療で出会う致死的疾患の3症例 ～R-CPCから病態把握へ～

主催 公衆衛生・微生物検査研究班合同

実施日時：平成29年 6月16日 19時00分～20時30分

会 場：大宮ソニックシティ 804号室 点数：専門教科－20点

講 師：大井 秀則 (埼玉医科大学総合医療センター)

参加人数：会員41名 非会員1名 (医師)

出席した研究班班員

公衆衛生：菊地孝司 富井貴之 鈴木勤 立塚梓 榊原外江 石井孟

微生物：小西光政 酒井利育

研修内容・感想など

今回の研修会は、救命救急の最前線でご活躍されている大井氏にご講演いただいた。

当初、3症例の紹介予定であったが、直前に本研修会で取り上げるのに良い症例が発生し、

4症例の紹介となった。内容は重症糖尿病性アシドーシス症例、解離性大動脈瘤症例、細菌感染による肝膿瘍症例、そして肺動脈塞栓症症例であった。どの症例においても丁寧な病態および検査(値)の解説があり、とても理解しやすい印象を受けた。とりわけ、苦手意識の強い方が多い血液ガス分析検査においては、臨床側からの検査値のとらえ方から検査値の考え方に至るまで、わかりやすく説明していただいた。参加した会員の多くは、熱心にメモを取り、聞き入っていた様子がみられた。検査値を機械的に臨床へ報告するだけの業務となることなく、チーム医療の一員として臨床医とコミュニケーションを取り、幅広い知識の構築と病態把握の一助となることを期待する。(文責：鈴木勤)

テーマ 受験者必須！ 2級検査士・認定臨床微生物検査技師取得に向けて

主催 微生物検査研究班

実施日時：平成29年 6月23日 19時00分～20時30分

会 場：大宮ソニックシティ 604号室 点数：専門教科－20点

講演 1：きっと役に立つ！ 2級臨床検査士受験対策 ～実体験を交えて～

講 師：小棚 雅寛 (埼玉医科大学病院 中央検査部 細菌・遺伝子検査室)

講演 2：めざせ！ 認定臨床微生物検査技師 ～試験とその対策～

講 師：濱本 隆明 (防衛医科大学校病院 医療安全・感染対策部)

講演 3：2級検査士・認定臨床微生物検査技師資格試験のQ&A

講 師：結城 篤 (防衛医科大学校病院 検査部 微生物検査部門)

参加人数：会員55名 賛助会員7名

出席した研究班班員：渡辺典之 牧俊一 酒井利育 森圭介 毛利光希 小西光政 小棚雅寛

研修内容・感想など

県内技師3名を講師に迎え『受験者必須！ 2級検査士・認定臨床微生物検査技師取得に向けて』のテーマで研修会を行った。

講演1では小棚氏より2級臨床検査士受験対策についてご講演いただいた。試験は筆記と実技があり、筆記においては、微生物学50問と寄生虫学10問の多肢選択式形式で、出題範囲は培地や微生物の特徴、耐性菌の判定や感染症法、寄生虫・ウイルス学を含むとのことであった。実技においては、基本操作はTSI培地への接種、塗抹検査はグラム染色やGeckler分類、同定・薬剤感受性検査は培地観察や耐性菌の判定、寄生虫学では鏡検を行ったとのことであった。最大の特徴は、検査技術の習熟度を評価するため実技試験を重視しているとのことであった。

講演2では濱本氏より認定臨床微生物検査技師～試験とその対策～についてご講演いただいた。2級検査士と認定臨床微生物検査技師の制度や試験内容の違い、試験までの流れ、受験資格に学会発表3回以上および筆頭論文発表1編以上が必要で、試験前日に行われる指定講習会では試験の傾向やヒントがでてくるとのことであった。さらには協議会主催の地域講習会も開かれており、受験に向けての準備や試験において注意すべきポイントを講義と実習を通して習得できるため、参加するメリットは大で人気も高く申込み締め切りに注意が必要とのことであった。

講演3では結城氏より2級検査士・認定臨床微生物検査技師資格試験についてQ&A形式でご講演いただいた。実際に試験問題を作成する過程、受験資格の有無を審査する過程、試験当日に試験官が見ている本当の採点ポイントなどについて聞くことができた。会場からの質問にも、論文査読、試験作成、試験官、採点すべての過程に携わっている講師からのアドバイスを聞くことができた有意義な講義であった。

微生物を担当する私達技師にとって改めて『資格取得』を考える良い機会となったと思われる。これから経験を積まれる若手技師のみなさんが、いろいろな資格試験に挑戦し活躍されることを期待したい。(文責：小西光政)

テーマ 血管超音波実技講習会

主催 生理検査研究班

実施日時：平成29年 7月1日、2日 両日とも内容は同じ

AM講義 9時00分～12時30分、 PM実技 13時30分～16時00分

会 場：埼玉県済生会 栗橋病院 講義室 点数：専門教科－20点

講 義

講 義 1 : 血管超音波検査に役立つ機器技術

講 師 : 岩崎真梨子 (GEヘルスケア・ジャパン株式会社)

講 義 2 : 深部静脈血栓症の標準的超音波評価法 ~DVTを見逃さない検査のコツ~

講 師 : 山本 哲也 (埼玉医大国際医療センター)

講 義 3 : 深部静脈血栓症における弾性ストッキングコンダクターの役割

講 師 : 阿部美智子 (深谷赤十字病院)

実技 (下肢静脈)

講 師 : 山本 哲也 (埼玉医大国際医療センター)

阿部美智子 (深谷赤十字病院)

野本 隆之 (上尾中央医科グループ 吉川中央総合病院)

田名見里恵 (上尾中央医科グループ 上尾中央総合病院)

参加人数 : 7月1日 : 会員37名

7月2日 : 会員50名 非会員1名

出席した研究班班員 : 早川勇樹 野本隆之 仲野浩 瀧澤義教 関口知詠子 田名見里恵

丸山陽介 横尾愛

研修内容・感想など

【講義】 : 今回は久々の下肢静脈超音波の実技講習会企画であった。座学は講師3名から最新情報を盛り込んでご講演いただいた。

まず講義1の岩崎氏より、GE超音波装置の様々な血管領域に役立つBフローカラーなどのアプリケーションやルーチンサポートなど使い勝手の良いシステムをご紹介いただいた。

講義2では、深部静脈血栓症の標準的超音波評価法が今年更新される予定であり、その作成委員会メンバーである山本氏に直接ご講演いただく企画であった。下肢静脈検査の基礎知識として解剖の名称変更や、検査法ではproximal CUS (compression ultrasonography) が新たに盛り込まれ、その活用法についても紹介していただいた。そして検査のコツでは様々な場面での血栓診断のコツを紹介いただいた。今までに知られている方法だけでなく、新たな提案が多数盛り込まれていたことには感銘を受けた。講義3は、埼玉県で弾性ストッキングコンダクターを取得している技師はまだ少数であるが、血管診療技師として活躍されている阿部氏は、さらに弾性ストッキングコンダクターも取得しており、その活動についてご講演いただいた。資格取得の方法や弾性ストッキングとはどういうものか、現場での関わり方等、実際の活用の仕方を盛り込んで紹介していただいた。更にハンズオンでストッキングの選択や履かせ方のコツ、留意点など実演していただき、とても勉強になった。この取り組みで肺血栓塞栓症予防管理料305点が適応される。

いずれの講師も、日頃のこだわりと実践があるからこそ、講演で我々に発信できるものだと思われた。いずれも非常に有意義な内容であった。

【実技講習】 : 第一線で活躍されている講師による下肢血管エコーの実技講習会が、一班5~6人の少人数制で行われた。各講師とも情熱あふれる指導で明日からの検査に役立つ実り多い講習会で会ったと思う。とかくハードルが高いと思われている下肢静脈エコーを股関節の血管から足首に向かい順序立てて説明され、圧迫法や呼吸法のコツやピットホールを丁寧に説明されていた。

実技の内容を紙面に載せるすべはないが、質疑の解答を一部だけ載せると、検査の進め方と体位の質問には、横臥位と座位とする施設、これに妊婦等には回復体位を加える施設、横臥位と腹臥位で行う施設など様々であった (施設の患者の特性により、実施する体位に差が出た)。検査の進め方では、腹部血管を先に行う施設や、最後に行う施設、股関節の腸骨静脈の呼吸変動結果から必要例のみ腹部血管を確認する施設など様々であった、下肢血管の進め方は股関節から足首に向かい順序立てて行おうと言った施設だけであった。

教育期間の質問では、100人200肢で一人立ち目指す施設から、2~3ヵ月の施設、患者数や教育体制によっては半年程度かかると言った施設など様々であり、どの施設も教育体制の確保に苦慮している現実が伺えた。

今回の実技講習で感じたことは、順序立てて、病態を考えながら検査すれば下肢血管エコーと言え決して難しくない事が分かり、受講生も自信に繋がったものと考える。

(文責 : 野本隆之・仲野浩)

埼臨技ひろば

「TEAM SAMT 44 またもや始動…!」

がん患者さんを支え、共に歩く「リレー・フォー・ライフさいたま9th」メンバー募集!

みなさん、皆で24時間歩きとおす技師会のイベントを覚えておられるでしょうか?リレー・フォー・ライフさいたま(RFL)というがん患者さんを支援するボランティアイベントですが、これまで2年連続で埼玉県医学検査学会の市民公開講座の宣伝を兼ねて参加してきました。去年は賛助会員の皆様も含めるとのべで100名以上の会員に参加していただいたのですが…

参加してくれた方々はすでに分かっていると思いますが、一言で言えば「がん患者さんの支援イベント」です。雰囲気は運動会と学園祭とキャンプを一緒にしたような感じでしょうか。メインイベントはチームで一丸となってタスキをつなぎ、がん患者さんの苦しみを分かち合おうという24時間ウォーキングです。毎年のごとくですが、徹夜組は歩く順をUNOで決めるなど自由でのんびりしたウォーキングなので、誰でも参加可能です。ステージでは各種イベントが催され、また各チームのテントでは参加チームがそれぞれ工夫をした出し物やバザーを行っています。夜には燈火の点灯で亡くなった方を悼むイベントもあります。

今年は、来る9月9日(土)10日(日)、場所は浦和大崎公園緑の広場です。参加に資格はありません。参加費1000円から経費を除いた分が寄付に充てられ、患者支援とがん研究支援に回されます。1時間でも2時間でもかまいません。大空と緑の中で、日頃の運動不足を解消するために、また健脚を活かすために一緒にのんびり歩きますか?

(文責:岩田敏弘)

TEAM SAMT44 再始動! & メンバー募集のお知らせ



がん征圧・患者支援チャリティー 24時間夜通し開催
RELAY FOR LIFE
リレー・フォー・ライフ・ジャパン
2017 さいたま9th

さてまたやってきましたこの季節、今年もやります!リレー・フォー・ライフ・さいたま 2017 (RFL)。今年もまた津田会長をチーム総代表とし、埼臨技チーム「TEAM SAMT 44」として参加することになりました。去年参加された方はご存知でしょう。RFLは一言で言えば対がん協会が主催し、ボランティアが運営する「がん患者さんの支援イベント」です。イベント全体の雰囲気は運動会と学園祭とキャンプを一緒にしたような感じでしょうか。メインイベントはチームで一丸となってタスキをつなぎ、がん患者さんの苦しみを分かち合おうという24時間リレーウォークです。また一昨年は私たちも啓発テントを借りて紙芝居形式で「検診の大切さ」や「検査データの見方」などの啓発を行いました。

今回もメンバーを募集します。参加費1000円から経費を除いた分が寄付に充てられ、患者支援とがん研究支援に回されます。事前登録していただけたらありがたいですが、当日参加でも構いません。もちろん1時間でも2時間でも大丈夫です。大空と緑の中で、日頃の運動不足を解消するために、また健脚を活かすために一緒にのんびり歩きますか?

TEAM SAMT44 若者男女、個人・グループ問わず、広くメンバー募集いたします
参加・資料希望の方は下記問合せ先にメールか電話でご連絡をお願いします



開催日時
2017年 11:00開場 12:00ゴール
9月9日(土)▷10日(日)

さいたま市緑区農業者トレーニングセンター 緑の広場

開催場所アクセス
徒歩: 東浦和3Km(約20分)
バス: 浦和・浦和公園・東川口各駅から国際興業バス「大崎園芸植物園」下車すぐ

TEAM SAMT44 「私たちは患者さんの良きサポーターとして、共に歩む、顔の見える臨床検査技師を目指しています。お気軽に声をかけてください。」

(チーム紹介文より)

各施設の代表者の皆さん、新人の教育の一環としても若い人に参加を促してください。幅広い技師との交流、患者さんとのふれあい、ボランティア活動の意義、いろいろなことが見えて来て、世界が広がるいい経験ができますよ

問い合わせ先: 埼玉県立がんセンター内 RFL2017「TEAM SAMT 44」事務局
岩田 敏弘 Tel 048-722-1111 (5225) iwata.toshihiro@cancer-c.pref.saitama.jp

問合せ: 県立がんセンター検査技術部 蔵光 048-722-1111内線4115まで

平成29年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第4回 理事会議事録

日時：平成29年7月13日(木) 19時00分より

場所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出席：(理事)津田 岡田 矢作 小山 奈良
猪浦 松岡 小島 濱本 藤井
長澤 神嶋 伊藤 濱田 山口
武関 阿部

欠席：(理事)神山 島村 長岡 石井 鳥山
(監事)遠藤 細谷

本日の理事会の出席者は17名であった。理事の出席者は17名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、津田聡一郎会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告(平成29年6月8～平成29年7月12日)

6月8日(木)平成29年度第3回理事会：

津田、神山、岡田、矢作、小山、奈良、猪浦、長岡、松岡、小島、石井、濱本、藤井、長澤、神嶋、伊藤、濱田、山口、鳥山、遠藤

6月8日(木)総務部名簿作成作業：猪浦

6月8日(木)平成29年度第1回事務局会議：
神山、矢作、小山

6月9日(金)平成29年度定時会員総会：
津田、神山、岡田、矢作、小山、奈良、猪浦、長岡、松岡、小島、石井、濱本、藤井、長澤、神嶋、伊藤、濱田、鳥山、武関、阿部、遠藤、細谷

6月9日(金)市税納付証明書発行手続き：神山

6月13日(火)県税・国税納付証明書発行手続き：
小山

6月17日・18日(土・日)：第66回日本医学検査学会：津田、神山、岡田、濱本、小島、武関

6月20日(火)埼臨技・技師養成校意見交換会：
津田、神山、濱本、藤井、伊藤

6月21日(水)第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会実行委員会：
津田、濱本、小山、神山、岡田、矢作、奈良、猪浦、長岡、松岡、小島、石井、藤井、長澤、神嶋、伊藤、濱田、山口、鳥山、武関、阿部

6月23日(金)日臨技創設65周年・法人化55周年記念式典：

津田、神山、岡田、矢作、小山

6月23日(金)平成29年度日臨技定時会員総会選挙管理委員会：山口

6月24日(土)平成29年度日臨技定時会員総会：
津田、神山、岡田、小山、山口

6月27日(火)埼玉県医師会精度管理委員会：
津田、神山、岡田、山口

6月28日(水)第17回わらび健康まつり第1回実行委員会：藤井

6月30日(金)第12回深谷市福祉健康まつり第1回実行委員会：阿部

7月7日(金)埼臨技新入会員向け研修会：
津田、岡田、矢作、濱本、藤井、長澤、神嶋、伊藤、濱田、鳥山、武関

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

1) 6月8日、平成29年度第1回事務局会議が開催された。

2) 6月9日、平成29年度定時会員総会が開催された。

3) 6月23日、日臨技創立65周年・法人化55周年記念式典が開催され、その席上で厚生労働大臣表彰式が挙行され、埼臨技推薦にて神山副会長、矢作事務局長、小山事務局次長が、日臨技推薦にて岡田副会長が表彰状を授与された。

4) 6月24日、日臨技平成29年度定時総会が開催され、津田会長、神山副会長、岡田副会長、小山事務局次長、山口常務理事が出席した。

5) 日臨技より「日臨技eラーニング本稼動について」のお知らせが届いた。

2 総務部

1) 埼臨技だより」第458号、7月15日発行予定

2) 平成29年度会員名簿、7月15日発行予定。また、CD作製会社より個人情報保護に関する誓約書を貰った。

3 事業部

1) 6月20日、埼臨技・技師養成校意見交換会を開催した。

2) 6月28日、第17回わらび健康まつり第1回実行委員会に藤井理事が出席した。

3) 6月30日、第12回深谷市福祉健康まつり第1回実行委員会に阿部理事が出席した。

4) 7月7日、新入会員向け研修会を開催した。参加者：96名

4 学術部

1) 埼臨技会誌(Vol.164 No1)の発行が8月11日に延期となった。

2) 8月26日・27日開催の、第1回日臨技骨髄像研修会2017への参加者2名を決定した。
星 孝夫氏(獨協医科大学越谷病院)
網野 育雄氏(埼玉医科大学国際医療センター)

3) 大宮ソニックシティ保管用PCプロジェクター2台を購入した。

4) 臨床化学検査研究班よりデータ使用願いについて了承した。

5 精度保証部

1) 特になし。

6 会計部

1) 平成29年度正会員費83名分415,000円、入会金71名分71,000円、合計486,000円の入金があった。

2) 生涯教育推進研修会助成金50,000円×1研修会、合計50,000円の入金があった。

3) 日臨技定時会員総会議決権行使書回収手数料1,950件×70円、合計136,500円の入金が

あった。

- 4) 石井印刷へ、埼臨技だより457号印刷代119,556円を振り込んだ。

7 精度管理委員会

- 1) 6月27日、平成29年度埼玉県医師会精度管理委員会を開催した。

8 一都八県会長会議

- 1) 特になし。

9 日臨技関甲信支部

- 1) 特になし。

10 日臨技

- 1) 特になし。

11 第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会

- 1) 7月21日、第5回実行委員会を開催予定。

3 事業部

- 1) 特になし。

4 学術部

- 1) 特になし。

5 精度保証部

- 1) 特になし。

6 会計部

- 1) 特になし。

7 精度管理委員会

- 1) 特になし。

8 第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会

- 1) 若手アンケート企画の周知について 埼臨技会長名で全都道府県会長に宛て周知文書を作成することで承認された。

III. 承認事項

1 事務局

- 1) 会員動向(平成29年度分) 平成29年 7月 1日現在

会員数 2,871名

(新入会員 199名[平成28年度会員数2,730名])

賛助会員 73社[平成28年度 82社]

承認された。

2 総務部

- 1) 特になし。

IV. 議題

- 1) 埼臨技技師養成校職員による(名称未定)委員会の設置について

濱本事業部長より埼臨技技師養成校職員による(名称未定)委員会の設置について発言があった。これを受け理事会審議の結果、確認すべき事項もあることから継続審議とすることとした。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

求人案内

○医療法人社団 浅野病院

採用条件：正職員

連絡先：048-471-2400

総務 岡野泰明

○重症心身障害児者施設 社会福祉法人 天童会 秋津療育園

採用条件：正職員

連絡先：042-391-1377 法人課 栗田

○川越耳科学クリニック

採用条件：正職員 臨時職員(パート)

連絡先：080-4734-5588

人事担当 坂田

○東松山市立市民病院

採用条件：正職員

連絡先：0493-24-6111 内線338

管理課 江野友美

○帝京大学医学部附属病院

採用条件：臨時職員(産休補助)

連絡先：03-3964-1211 内線30526

病院病理部 石井美樹子

○医療法人 大宮シティクリニック

採用条件：正職員 臨時職員(パート)

連絡先：048-645-1256

本部長 星野

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

あ と が き

私は自転車で通勤しています。健康のためというより、一台しかない自家用車を奥方様に献上したためです。病院まで、青々と茂った田んぼの横を3kmちょっと、自転車で丁度いい距離です。

梅雨明けして暑い日が続くこの頃、田んぼがやけに稲臭いと思ったら、稲に花がついていました。また稲穂が頭を垂れ始めている田んぼもチラホラありました。栗橋病院の周りには、4月中旬から5月上旬に田植えが行われ、早い田んぼだと8月中旬に稲刈りが始まります。二毛作をしている熊谷・行田近辺にくらべ2ヶ月くらい早いスケジュールで稲作が行われています。このだよりが届くころには、青々としていた田んぼも小金色に塗り替えられている頃と思います。

自転車通勤で四季を感じるのは風景だけではありません。私の顔や腕も田んぼと一緒に小麦色に日焼け。正に四季を肌で感じていま～す！

(猪浦 記)

